

## 行政

- ・市民の安全の確保
- ・人命救助
- ・市有施設の安全確保
- ・災害関連情報の収集、発信

市長  
副市長  
・避難情報の発令

### 危機管理防災本部

#### ・避難情報の伝達

- ・気象情報や被害情報の収集
- ・災害対策本部の設置

### 原子力安全対策室

- ・原子力災害への対応

### 土木部

- ・道路や河川等のパトロール
- ・市道の通行規制等の緊急措置

### 消防本部

- ・救急、救助活動

### 福祉保健部

- ・要配慮者への対応

### 農林水産部

- ・農地、農業施設等の被害状況の把握、応急対策

### その他の部局

(支所・地域事務所を含む)

- ・ライフライン、交通機関の状況把握
- ・市有施設 利用者の安全確保、被害状況把握、緊急措置
- ・避難者や被災者への支援

### 地区防災センター職員

- ・指定避難所の開設、運営
- ・避難者の受入れ

### 教育委員会 小・中学校長等

- ・休校、休園等の対応
- ・児童や園児の緊急安全確保

## 地域

- ・「自分の命は自分が守る」避難行動
- ・地域に精通した住民同士の助け合い

### 自主防災会・町内会 民生委員・児童委員

消防団

- ・避難行動要支援者の避難への支援

情報発信

通報

地域の経験則に基づく危険

### 地域住民

危険な場所から  
安全な場所へ避難

在宅避難  
自宅が安全な場合  
や移動が危険なとき

〈任意〉

一時避難場所  
(公園や集会所など、地域で独自に指定している一時的な避難場所)

避難行動

親戚・知人宅等の安全な場所

### 届出避難所

(自主防災会等が市に届け出て自主的に運営する地域の避難所)

### 市が開設する指定避難所

(公共施設や車中避難場所など)

開設・運営への参画

## ～ 自助・共助が大切です ～

### ☑ 家庭での備えを万全に

災害が発生すると、停電や断水、物流の停止などにより、日常生活に大きな影響が生じます。いざという時のために各家庭において、備えることが重要です。

自宅が安全であれば、水や食事、日用品などの備えがあることで避難所に行かなくても「在宅避難」ができます。最低3日分でできれば1週間分を目安に用意してみましょう。

避難所へ避難する場合も、備蓄したものを持ち出さないと避難生活は不便なものになってしまいます。持ち出す場合は最低1食分、できれば1日分の食料や日用品を用意しましょう。

### ☑ 隣近所で助けあい、早めの避難

もしも今、災害が発生したら、あなたや家族は大丈夫ですか？あなたが住んでいる地域には、どんな災害リスクがありますか？災害の発生直後は、市や消防などが活動できるまで一定の時間を要します。

いざというときに真っ先に駆けつけて助け合うことができるのは、地域のみなさんです。

日頃から町内会や自主防災会の活動に積極的に参加してコミュニケーションをとり、ハザードマップなどで地域の災害リスクについて話し合い、早めの避難を心がけましょう。

### ☑ 安全な場所を確認しておきましょう

災害によって、安全な場所が異なる場合があります。

例えば水害(洪水)でひざ付近まで浸水したときは、高齢者や障害者など、短時間での移動が困難な方については、屋外への移動がかえって危険を伴います。

マンションや自宅の上層階など垂直方向への移動による垂直避難の方が安全な場合があるため、日頃から災害別ハザードマップで安全な場所を確認しておきましょう。

### ☑ みんなで協力 避難所運営

避難所運営は、避難者である住民のみなさんが、施設の管理者や市の職員と協働で行います。

また、避難所の運営に女性や多様な人々から参画してもらうことで、多様なニーズが取り入れられ、避難生活における困難を和らげることができます。物資の配布、要配慮者への支援など、コミュニケーションをとって円滑な避難所運営を目指しましょう。